



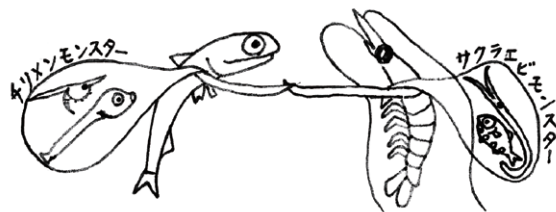
実践報告③ サクラエビモンスターとドッキング！

静岡県 南條 孝子

1 ねらい

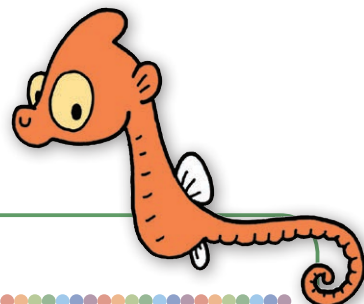
私は普段、子どもと本をつなぎたいと思い、読み聞かせをしたり、図書館から依頼を受けて科学講座を実施したりしている。とくに科学講座では、実験やあそびの中に科学的な内容の本を取り入れている。

チリメンモンスターさがしは、海の一部を切りとって持ってくるような教材で、本物が持つ力のすごさを実感している。また、地域の豊かな海について学び、ちりめんじゃこや駿河湾の特産品であるサクラエビが届くまでの人々の営みや努力を想像するなど、発展性を秘めた教材である。そのためには、材料は地域のものにこだわり、まず自分が体験することが大切と考え、事前準備を行った。



2 事前準備

- ・地元の漁港（大井川漁港・由比漁港）で、漁や競り、加工のようすを見学し、関係者に話を聞く。それを展示資料としてまとめる。
- ・モンスターの混じったちりめんじゃこサクラエビを漁協にお願いする。また、どんなものが入っているかを事前に調べ、同定できないものは、地元の漁師、静岡県水産試験場、きしわだ自然資料館、東海大学海洋学部博物館に教えてもらう。
- ・今回の実習に関連する本をさがして、準備しておく（下記の「子どもに紹介する本」参照）。
- ・子どもたちがモンスターを同定するときに使う資料の準備。チリメンモンスターは、きしわだ自然資料館が作成したリーフレットを利用し、サクラエビモンスターについては自分で作成した（図 3-20）。
- ・シラスとサクラエビを比較した表を作る。シラスとサクラエビが獲れる都道府県の地図を作成する。



子どもに紹介する絵本

1.



『月刊かがくのとも 5』
『イワシ むれでいきるさかな』
大片忠明 作
福音館書店 2013年

2.



『自然スケッチ絵本館』
『魚のこと』
キャスリン・シル 文
ジョン・シル 絵 増本裕江 訳
玉川大学出版部 2011年

3.



『自然スケッチ絵本館』
『軟体動物のこと』
キャスリン・シル 文
ジョン・シル 絵 福田晴代 訳
玉川大学出版部 2011年

4.



『自然スケッチ絵本館』
『甲殻類のこと』
キャスリン・シル 文
ジョン・シル 絵 藤田千枝 訳
玉川大学出版部 2011年



『いわしのたび』（新日本動物植物えほん 5）
渡辺可久 作 新日本出版社 1980年



『ふかい海のさかな』（新日本動物植物えほん 14）
武田正倫 文 渡辺可久 絵
新日本出版社 1982年



『チリメンモンスターをさがせ！』
きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会・
日下敬之 監修 偕成社 2009年



『チリメンモンスターのひみつ さぐれ！ 海の生き物のくらし』
きしわだ自然資料館・武田正倫 監修
いずもりよう 絵 偕成社 2016年

図 3-20 チリメンモンスターとサクラエビモンスター





実践報告③ サクラエビモンスターとドッキング！

3 講座の流れ

① チリメンモンスターのチリメンって何だろう？

「チリメンモンスターは、ちりめんじゃこの中に入っているモンスターってことだよ。じゃあちりめんじゃこって何だろう？ それをこの本ではっきりさせようね」

絵本1『イワシ むれでいきるさかな』を一部読む。

静岡県では、ちりめんじゃこよりシラス干しという呼び名の方が浸透している。シラスの材料はイワシの子ども。イワシの子どもを塩ゆでしたものが、ゆでシラス。ゆでシラスを干したものがシラス干しで、シラス干しはちりめんじゃことも呼ばれることを伝えた。

② ちりめんじゃこはどうやってできるの？

資料「ちりめんじゃこができるまで」で紹介する（図3-21）。写真が掲載されている水揚げされたものの中に、イワシの稚魚以外のものも入っていることから、チリメンモンスターは、ちりめんじゃこに混ざるイワシの子ども以外の生き物と知ってもらう。

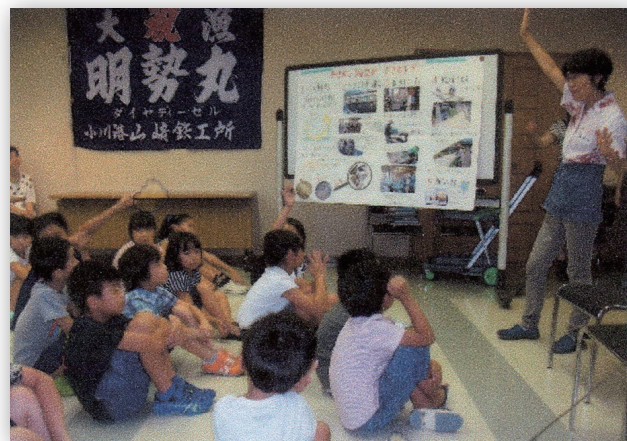
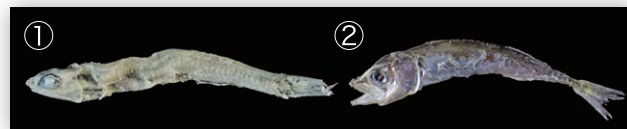


図 3-21

③ まずは、ウォーミングアップ

クイズ1

カタクチイワシの子どもは、次の①と②のどちらでしょうか？



絵本2『魚のこと』を一部読んで、魚に共通する特徴をおさえる。

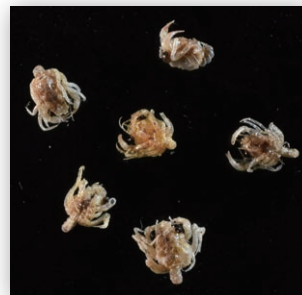
クイズ2

①、②のうち、どちらがタコで、どちらがイカでしょうか？



絵本3『軟体動物のこと』を一部読んで、イカ・タコに共通する特徴をおさえる。

クイズ3



これは大きくなったら何になる？

絵本4『甲殻類のこと』を一部読んでカニ・エビに共通する特徴をおさえる。材料に、カニのゾエアやメガロパがたくさん入っているので、その成長過程や姿・名前が成体と違うことを紹介する。

④ チリメンモンスターをさがそう



ウォーミングアップでおさえた「魚のなかま」、「イカ・タコのなかま」、「カニ・エビのなかま」、「その他」と大きく分け、同定用のパンフレットと照らし合わせるように声をかける（図3-22、3-23）。また、カニのなかまということはわかってても何というカニか、まではわからないことはよくあると説明する。アミをサクラエビとしている親子が何組もいたので、それがサクラエビなのか考えようと次につなげた。



図 3-22

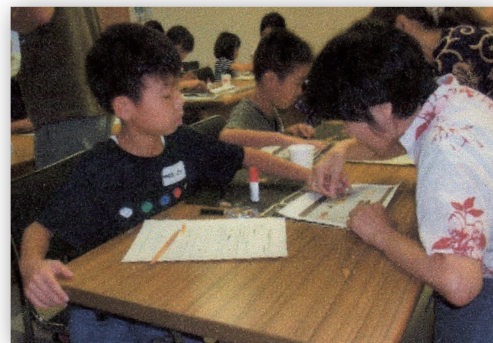
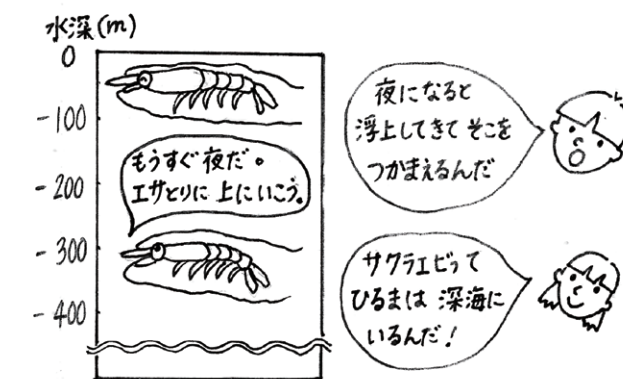


図 3-23

⑤ サクラエビをシラスと比べてみよう



シラス(イワシの子ども)	サクラエビ
せきつ動物・魚類	無せきつ動物・節足動物・甲殻類
沿岸近くの海で群れてい イワシの寿命は2~3年	水深は200~300mの深い所 夜には20~50mまで浮上する
マイワシ 冬から春に産卵 カタクチイワシ 何回でも産卵	寿命は15ヶ月ぐらい 夏に産卵
3月下旬~1月上旬	3月~6月 春漁 9月~10月 秋漁
資源を守るための決まりを作っている	資源管理型漁業
日本全国 静岡県では駿河湾・遠州灘 静岡県第3位(平成27年)	駿河湾 由比港・大井港のみで水揚げ
朝早くから午前中の間に漁をする	特性を生かして夜漁をする
生シラス 釜あげシラス チリメン干し	生サクラエビ 釜あげサクラエビ 素干し
さまざまな生き物が入る	深海の生き物 深さ50m位にいる生き物

図 3-24

サクラエビとシラスを比べた表を使う（図3-24）。分類・生態・漁期・獲れる場所・獲り方・加工品・混じる生き物（モンスター）の種類を確認していく。サクラエビが静岡県でしか獲れないとわかったとき、子どもたちが驚きの声をあげた。また、漁場も獲る時間も網を入れる深さも違うので、シラス漁の中にサクラエビは混ざらないことを説明すると、大人も子どもも大きくうなずいていた。

⑥ サクラエビモンスターをさがそう

商品として売っているサクラエビには、「サクラエビモンスター」はまったく入っていない。漁師さんや加工業者が、モンスターをとりぞいでいるのだ。今回は特別にモンスター入りのものを提供してもらったことを紹介すると、とても喜んでモンスターさがしにとり組んでいた。今度も、「魚のなかま」、「イカ・タコのなかま」、「カニ・エビのなかま」に分け、パンフレットと照らし合わせながら表をつくってもらった。

⑦ まとめ

スーパーで売っているシラスの中にも、チリモンが入っていることがあり、楽しめること、わからない生き物に出会ったときの「お助けとなる方法」として、チリモンカード図鑑、本、チリモンWEB図鑑、その他ネットサイト、きしわだ自然資料館で調べてもらうことなどを紹介。私が同定できなかったチリモンをきしわだ自然資料館に調べてもらったことを伝えたら、「ほんとに聞いたんだあ」、「聞いてもいいんだ」と、わからないことを聞くのが新鮮だったようだ。最後に、講座の中でとり上げられなかった本を簡単に紹介した。

4 おわりに

地元のシラスやサクラエビをとり上げたことで、子どもたちがより関心を持って取り組んでくれたと感じた。また、本にも関心を寄せてくれた（図3-25）。今回は漁協にお願いして実際に船に乗り、漁のようすを見学したり、製品になるまでの過程を学ぶこともできた。自分が体験して学ぶことにより、感動したことや驚いたことを子どもたちにも伝えたいと思って取り組んだ。



図 3-25

5 参加者の感想

子どもの感想

- ・チリメンやサクラエビの中からモンスターをさがすのが楽しかった。
- ・ゾエアとかメガロパをはじめて見た。
- ・サクラエビが静岡県でしか獲れないとはじめて知ってびっくりした。

保護者の感想

- ・シラスとサクラエビと一緒に獲れないのは、すんでいる深さなどが違うことをはじめて知りました。イベントの後、スーパーでチリモンの中にゾエアがいなかったか見たりして楽しんでます。



● 参考にした本

- 『チリモン博物誌』
きしわだ自然友の会著 幻戯書房 2009年
- 『駿河湾からの贈りもの サクラエビ』
池松政人編著 1999年
- 『駿河湾 桜えび物語』（しずおかの文化新書14）
川口 円子、仲田 均、海野 志保子、八木 洋行 著
公益財団法人静岡県文化財団 2013年